

MCCR

vol. **29** 株式会社メガチップス
2019年3月期のご報告
2018年4月1日～2019年3月31日

2019年3月期のご報告
2018年4月1日～2019年3月31日

MegaChips

株式会社メガチップス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル
TEL.06-6399-2884(代) FAX.06-6399-2886

<https://www.megachips.co.jp/>



P2 社長が語る業績と戦略

経営基盤を強化し、
持続的な成長を目指していきます

P5 特集 トレンドワードでみる 製品開発

Smart Mobility



Industrial IoT



5G



UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

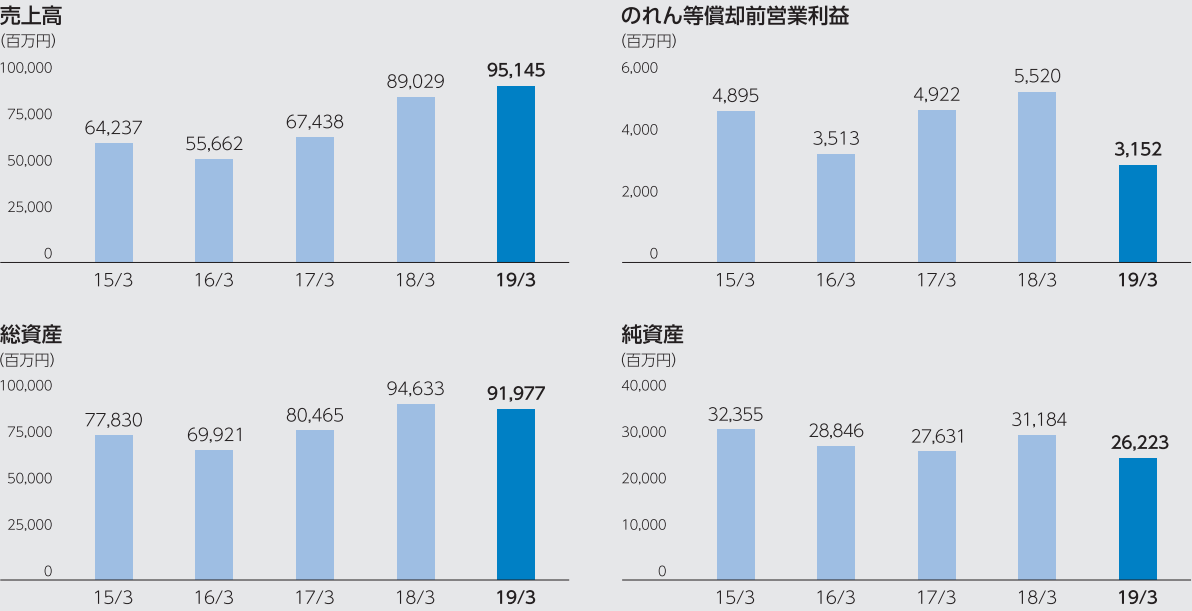


株式会社メガチップスおよび連結子会社 3月31日に終了した連結会計年度

	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
会計年度(単位:百万円)					
売上高	64,237	55,662	67,438	89,029	95,145
売上原価	45,263	39,233	48,667	67,603	75,509
のれん等償却前営業利益	4,895	3,513	4,922	5,520	3,152
のれん等償却後営業利益	4,895	-335	1,926	2,709	573
親会社株主に帰属する当期純利益	1,251	-782	-947※1	1,948	-1,727※2
会計年度末(単位:百万円)					
総資産	77,830	69,921	80,465	94,633	91,977
純資産	32,355	28,846	27,631	31,184	26,223
1株当たり情報(単位:円)					
1株当たり当期純利益	55.64	-35.24	-44.14	90.05	-79.40
1株当たり純資産	1,438.09	1,341.86	1,280.71	1,435.37	1,204.98
期末発行済株式総数(単位:株)	24,038,400	23,038,400	23,038,400	23,038,400	23,038,400

※1 2017年3月期は、当社の生産委託先であるマクロニクス社(Macronix International Co.,Ltd.)の株式評価損を主とする「投資有価証券評価損」11億5千8百万円を特別損失に計上しています。

※2 2019年3月期は、事業構造改革の一環として行った経営資源の配分の見直しに伴うものを主として、ソフトウェア等の除却による「固定資産除却損」を15億2千7百万円、固定費削減を目的とする人員減のための「特別退職金」を3億7千1百万円それぞれ特別損失に計上しています。



Contents

- 1 財務ハイライト

2 社長が語る業績と戦略
- 5 特集 トrendワードでみる製品開発

7 研究開発
- 8 会社情報／役員構成

9 株主様ラウンジ

見直しに関する注意事項

当報告書の記載内容のうち、歴史的事実ではないものは将来に関する見直しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績などは記載の見直しとは異なる場合がございます。

経営基盤を強化し、
持続的な成長を目指していきます



代表取締役社長 肥川 哲士

Profile

- 2000年 4月 執行役員コーポレートプランニング統括

2000年 6月 取締役

2003年 10月 執行役員システムビジネスユニット統括

2008年 1月 執行役員経営管理統括部長兼広報部長

2008年 6月 取締役退任

執行役員顧客専用事業本部部長

2009年 2月 執行役員事業本部第2LSI事業部長

2010年 12月 執行役員生産管理部長

2012年 1月 執行役員生産統括部長兼品質保証部長

2012年 6月 取締役

2013年 4月 執行役員第1事業部長

2016年 7月 執行役員調達・生産統括部長

2017年 7月 執行役員経営企画室長

2018年 6月 常務取締役

2019年 3月 執行役員国内統括兼経営企画本部長

2019年 6月 代表取締役社長(現任)

平素はひとかたならぬご支援とご高配を賜り、誠に有り難く心から御礼申し上げます。

この度第29期定時株主総会後の取締役会において、代表取締役社長に就任しました肥川でございます。

世界は今、IoTやAI等の技術の急速な進化により、大きな変化が進行しています。グループ(以下当社)を取り巻く事業環境も急速に、また、大きく変化しており、その変化に迅速に対応していかなければなりません。このような事業環境の中で、経営体制の一層の強化・充実を図り、持続的な成長と新たな価値創造に挑戦してまいります。

株主の皆様には、今後も引き続き当社への変わりぬご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年3月期の業績

2019年3月期は、ゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が増加し、951億4千5百万円(前年同期比6.9%増)の売上高となりました。利益につきましては、企業買収によるのれん及び無形固定資産の償却費が25億7千9百万円発生したこと、将来に向けた開発投資のため研究開発費を78億4千3百万円(同25.4%増)投下したことに加え、第1四半期においてMEMSタイミングデバイスの一部の特定製品の一過性の在庫評価の見直しにより8億6千9百万円を売上原価に計上したこと等により、のれん等償却前の営業利益は31億5千2百万円、のれん等償却後の営業利益は5億7千3百万円、経常利益は5億2百万円となり、前年度を下回る結果となりました。

一方、将来の成長に向けた事業構造改革を決断し、その一環として事業の選択と集中のため、経営資源の配分を見直しました。それに伴い、ソフトウェア等の除却による固定資産除却損、固定費削減を目的とする人員減のための特別退職金等、18億円の特別損失を計上したこと等から、親会社株主に帰属する当期純損失は17億2千7百万円(前年同期は19億4千8百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

2020年3月期の中期経営方針

抜本的な構造改革を進め、 中長期的な体質強化を目指します

急速な情報通信技術の革新により産業と暮らしがますます変化する中、市場動向に左右されにくく継続的に成長できる企業体質の実現を図るべく、中期経営方針を策定しました。

1. 成長が見込めるターゲット分野に向けて経営資源を集中することにより事業ポートフォリオの適正化を図る。
2. ASIC 事業:既存の主力分野の基盤をさらに強化・拡大し、新規事業分野の国内外の有力顧客を開拓する。
3. ASSP 事業:アナログ/デジタル技術とMEMS 技術を核とし、ビジネス展開を図る。
4. 経営基盤強化のための取り組みを推進する。

まず、今後の成長が見込める車載・産業機器、通信インフラ分野へ経営資源を集中します。技術競争力としてアナログ回路の開発・設計力の強化および国内・海外企業との戦略的な協業に取り組み、差別化できる付加価値の高いLSIソリューションをお客様にご提供することによって新たな事業を育成し、事業ポートフォリオの適正化を図ります。

ASIC 事業は、既存の主力分野であるアミューズメ

ント向けやカメラ・事務機器向け等の事業基盤をさらに強化・拡大します。加えて、新規事業分野として、高速有線通信分野の当社独自のコア技術を活かし、車載分野や産業機器分野において、国内・海外の有力顧客の開拓を進めます。

ASSP 事業は、MEMS タイミングデバイスを核とし、今後の市場拡大が見込める5G 通信インフラ、車載、産業機器分野における事業展開に取り組みます。車載、産業機器分野は、参入に時間がかかるものの、コンシューマ向けモバイル機器をはじめとする民生機器分野に比べ、製品ライフが長く、市場の浮き沈みに左右されにくいことから、将来の収益の重要な柱のひとつとして育成します。また、当社グループの米国 SiTime 社が開発したMEMS タイミングデバイスは、小型・高精度に加えて高い信頼性、耐衝撃性、低消費電力等、数々の優れた性能を有しており、多くの企業に採用されています。-40度から105度までの広い温度範囲内で業界最高レベルの精度を実現し、2019年5月には、過酷な環境下でも使用可能な5G、4G+の無線通信向けの製品の量産化も実現しました。今後も、携帯基地局や情報通信ネットワーク装置向け、車載向け等さらなる顧客獲得に取り組みます。

加えて、今後の成長を支える先進的で独創性のある人材を発掘・活用すべく、人材育成やダイバーシティ(多様性)の推進にも取り組みます。また、経営環境



の変化に柔軟かつ迅速に適応できるよう、事業活動における環境配慮や社会への貢献、コーポレート・ガバナンスおよびリスクマネジメント体制の強化、自己資本比率の改善等、経営基盤強化に向けて積極的に取り組みます。

このように当社は、抜本的な構造改革を行いながら、将来の成長が見込まれる分野への本格的な展開を図っていきます。

2020年3月期の業績見通し

ASIC 事業を再成長路線に乗せるとともに ASSP 事業に経営資源を集中し、 着実な利益成長の実現を図ります

次期の社会環境としては、2020年代の社会を支える超高速通信ネットワークが急速に拡大し、ますます豊かな情報化社会の実現が目前に迫ります。また、自然共生社会、低炭素社会、循環型社会の実現へ向けた取り組みも継続されます。

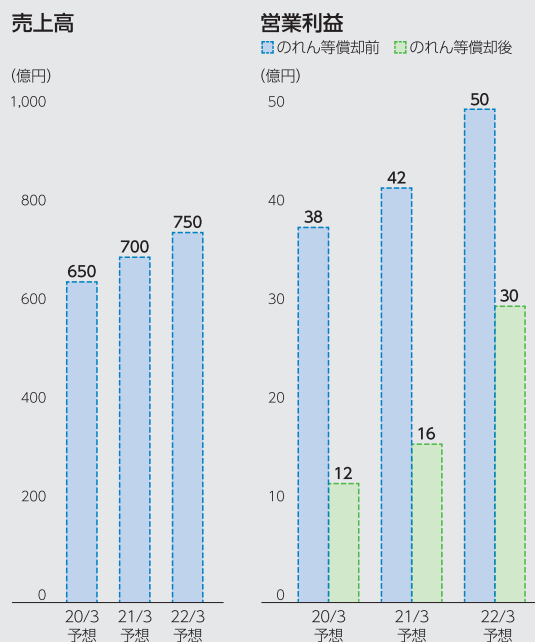
このような状況のもと、当社は、ASIC 事業を再成長路線に乗せて収益基盤の強化に取り組みます。一方、ASSP 事業としては、今後の成長が見込める車載・産業機器、通信インフラ分野へ経営資源を集中し、中長期の成長を加速させる考えです。これらの取り組みによって、着実な利益成長の実現を図ります。

今後も、株主の皆様への積極的な利益還元に努め、株式価値と資本効率の向上に努めてまいります。株主の皆様には、引き続きご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月期 中期経営方針および業績予想

経営資源を集中する分野を明確にして、
これまでにない新しい価値の創造と高い技術力により、
独創性のあるソリューションを提供し、
顧客と共に継続的な発展・成長を目指す。

成長が見込める分野へ経営資源を集中し、事業ポートフォリオの適正化を図る。	将来の成長への 布石
既存の主力分野の基盤をさらに強化・拡大し、新規事業分野の国内外の有力顧客を開拓する。	ビジネス拡大
アナログ/デジタル技術とMEMS技術を核とし、ビジネス展開を図る。	競争力/収益性の 強化
経営基盤強化のための取り組みを推進する。	財務体質の 強化



2020年3月期の連結業績予想 (単位:百万円)

2020年3月期予想	
売上高	65,000
のれん等償却前営業利益	3,800
のれん等償却費*	2,600
のれん等償却後営業利益	1,200
経常利益	800
親会社株主に帰属する当期純利益	200
1株当たり当期純利益(円)	9.19

* 企業買収によるのれん及び無形固定資産の償却費

トレンドワードでみる製品開発

トレンドワード



スマートモビリティ

人の移動を、より安全で快適にするテクノロジー

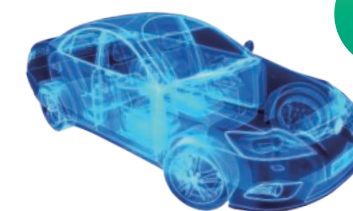
運転時の負担軽減や交通事故減少、環境負荷低減などに向けて、通信機能を搭載したコネクテッドカーや自動運転車、電気自動車など、自動車のエレクトロニクス化が進んでいます。

We realize

メガチップスの製品

次世代の車両内通信に求められる高信頼・高速・大容量化を支える

メガチップスは、これまで培ってきた高速有線通信用半導体デバイスの開発製造技術を活かし、日本のLSIメーカーとして初めて、次世代の車両内LANとして有望視されている「Ethernet(最も普及している通信規格)対応の100MbpsPHYデバイス」を開発しました。軽量・ローコストのワイヤハーネスで高速通信を可能にするとともに低消費電力も実現。自動車用半導体に求められる高い品質基準もクリアしています。



日本初

車載向けEthernet PHY



5G

あらゆる産業を革新する次世代モバイル通信網

通信速度が4Gの数十倍になるほか、タイムラグが減少する「低遅延」、多くの人・機器が同時に接続できる「多接続」を実現し、身の回りのあらゆるモノからデータを収集・活用できるようになる「5G」。IoT時代に対応する通信インフラとして開発が進んでいます。

We realize

極限環境でも正確に時を刻むデバイスで通信インフラを支える

5Gの特性を活かして電子機器の遠隔操作や高精度測位などを実現するには、機器を動作させる基準信号(クロック)の正確性が必須です。シリコンを材料とするMEMSタイミングデバイスは、振動・衝撃への耐性が高いことから、屋外の基地局といった過酷な環境下でも高い性能を発揮します。ほかにも、超小型・低消費電力・高信頼性などの特長を有しており、ウェアラブル端末から人工衛星まで、世界中のお客様に幅広い用途で採用されています。



世界シェア90%

MEMSタイミングデバイス



Industrial IoT

製造、物流、電気など多くの業界で活用される産業分野向けIoT

人とモノがリアルタイムでつながるIoT。その中で「Industrial IoT(産業向けのIoT)」は、物流、製造オートメーション、エネルギー領域(石油、ガス、電力スマートグリッド)などのビジネス産業界と市場の変革に貢献すると期待されています。

We realize

多彩な通信技術でスマートネットワークの構築を支える

Industrial IoTを実現するには、高速・大容量データ伝送を実現するスマートネットワークを構築する必要があります。メガチップスは、長年の研究を重ねた有線高速通信技術を活かして、スマートグリッドやビルディングオートメーションなどの産業機器分野向けのシステムLSIを供給しています。また、当社の通信技術は、住まいの多様な機器をつなぐホームネットワーク構築にも貢献しています。



産業機器分野向けLSI

アナログ/デジタル/MEMS技術を融合し、
独創的な製品を創出しています

メガチップスは、独自のコア技術を活用して顧客ニーズに応えるとともに、他社製品との差別化を実現する応用技術の研究開発に取り組んでいます。また、こうした研究開発による優位性と独自性を確保するために、知的財産の権利化を推進しています。

2019年3月期 研究開発の主な成果

- ゲーム機向けゲームソフトウェア格納用LSI
 - 光通信向けIP、LSI
 - アナログフロントエンドLSI
- 有線(同軸線、電源線)マルチホップ通信向けLSI
 - Smart Connectivity LSI (DisplayPort)
 - MEMSタイミングデバイス

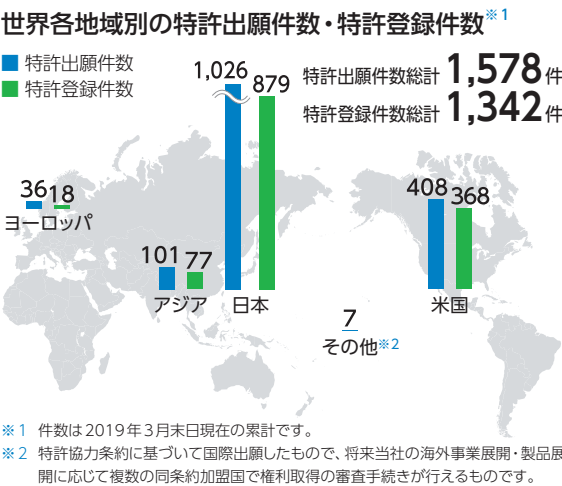
研究開発方針

独自のアナログ/デジタル/MEMS技術を
駆使したシステムLSIおよび
当該製品を利用した
ソリューションを提供すること

知的財産戦略

ファブレスメーカーであるメガチップスにとっては、研究開発の成果や独創的なアイデアなどの知的財産が事業競争力の源であり、知的財産を権利として保護することが競争力や成長力の向上につながります。

2019年3月期は、開発製品における技術として「高速有線通信技術」「ゲーム機向けメモリの信頼性向上」「通信機器向けアンプ制御技術」「ESD保護回路技術」に関する特許を出願しました。また基礎/応用技術として「ゲーム機/電子機器向けセキュリティ」「IoT機器向け技術」に関する特許を出願しました。



会社商号	株式会社メガチップス	所在地	本社 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1番1号 新大阪阪急ビル TEL. 06-6399-2884 (代表)
英文商号	MegaChips Corporation		
設立	1990年4月4日	東京事業所	〒102-0082 東京都千代田区一番町17番地6 一番町MSビル
上場	東証1部 (証券コード6875)	幕張事業所	〒261-8501 千葉県美浜区中瀬1丁目3番地
資本金	4,840百万円	主な海外拠点	MegaChips Technology America Corporation SiTime Corporation MegaChips Taiwan Corporation MegaChips Corporation, China
従業員数	719名 (2019年3月31日 連結)		
事業内容	独自のアナログ/デジタル/MEMS技術を駆使したLSIおよびMEMSタイミングデバイスの設計、開発、生産までトータルソリューションを提供		

役員

代表取締役社長
肥川 哲士
(ひかわ てつお)

取締役会長
進藤 晶弘
(しんどう まさひろ)

専務取締役
高田 明
(たかた あきら)

取締役
林 能昌
(はやし よしまさ)

取締役
下前 泰人
(しもまえ やすと)

取締役
明山 浩一
(あけやま こういち)

取締役
山口 育男
(やまぐち いくお)

社外取締役
頼 俊豪
(らい じゅんはお)

社外取締役
永田 潤子
(ながた じゅんこ)

常勤監査役
山川 真紀子
(やまかわ まきこ)

社外監査役
北野 敬一
(きたの けいいち)

社外監査役
浅田 勝彦
(あさだ かつひこ)

社外監査役
古川 智祥
(ふるかわ ともよし)

※ 取締役 頼 俊豪氏および永田 潤子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
※ 監査役 北野 敬一氏、浅田 勝彦氏および古川 智祥氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

TOPICS

5Gインフラ向けMEMSタイミングデバイス「Emerald Platform」始動!

5G通信インフラ装置・計測機器市場向けに、高精度MEMSタイミングデバイス「Emerald Platform」のサンプル提供を開始しました。本製品は、過酷な設置環境下においても高精度なクロックを供給し続けることができ、5G市場で求められるデバイスの課題と製品開発の複雑さを解決します。

引き続き、通信インフラ市場をメインターゲットに、次世代タイミングデバイス製品の開発に取り組んでいきます。



2019年度の株主優待について

メガチップスでは、株主の皆様の日頃のご支援に対して感謝の意を表するため、株主優待制度を設けています。3月31日現在で当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様を対象に、心ばかりの品を贈呈させていただきます。

2019年度は、次のとおり所有株式数に応じて、百貨店提供の優待品カタログからお選びいただきました商品1点をご優待品としてお届けしています。

所有株式数	カタログ内容
100株以上500株未満	百貨店提供のカタログ商品 (2千円相当)
500株以上	百貨店提供のカタログ商品 (4千円相当) もしくは、当社指定の任天堂社製 ゲーム機用ソフトウェア

ご注意 当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された情報をもとに、対象の株主様へご案内をお届けしています。ご案内を確実にお届けするため、お引越しなどでご住所を変更された場合は、口座開設先の証券会社等でご住所の変更手続きをしていただくとともに、お近くの郵便局の窓口へ転居届をご提出いただきますようお願いいたします。なお、株主優待品につきましては、申込受付期日を過ぎますとお受けできなくなりますので、ご注意ください。

優待品のお申し込みや配送に関するお問合せ

メガチップス株主優待事務局
フリーコール：0120-995-170
受付時間：9時～17時 月～土曜日(祝日を除く)



株式会社大丸松坂屋百貨店カタログ

2018年度 人気優待ランキング

1	豊水梨
2	肩口フィット枕
3	黒毛和牛シャブシャブ用
4	チキンバラエティセット
5	小豆島そうめん
6	ロイヤルパークホテル野菜カレー
7	味付海苔
8	ハンバーグセット
9	紳士ベルト
10	フルーツゼリー

今後の活動予定(IRカレンダー)

2019年

7月
アニュアルレポート
(英文版)発行

ホームページ掲載情報
●アニュアルレポート
(英文版)

8月1日
第1四半期
決算発表

ホームページ掲載情報
●最新決算報告
●決算短信
●決算説明会資料
●第1四半期報告書*
※8月8日発行予定

11月1日
第2四半期
決算発表

ホームページ掲載情報
●最新決算報告
●決算短信
●決算説明会資料
●第2四半期報告書*
※11月8日発行予定

2020年

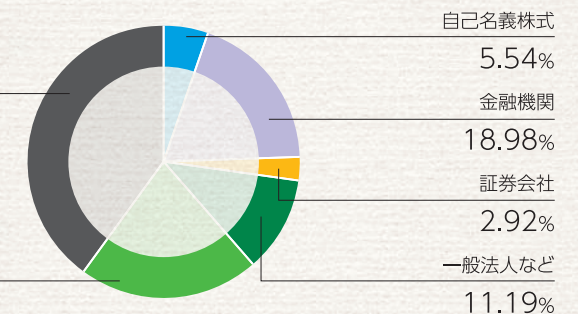
2月5日
第3四半期
決算発表

ホームページ掲載情報
●最新決算報告
●決算短信
●決算説明会資料
●第3四半期報告書*
※2月12日発行予定

当社の株主構成

所有者別株式分布(2019年3月31日現在)

株主数	21,488名
発行済株式総数	23,038,400株
個人・その他	39.90%
外国法人など	21.47%



当社の社会貢献活動

若い起業家の輩出が日本経済の成長につながると考え、学生の新事業提案コンテストに協賛しています。



第20回キャンパスベンチャーグランプリ大阪 表彰式

メガチップスサイトリニューアルのご案内

メガチップスは、あらゆるステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの一環として、サイトリニューアルいたしました。このサイトでは、業績・財務データや経営ビジョン・方針などを報告するとともに、「Who We Are」と題したコーナーを設け、当社のビジネスを分かりやすく説明しています。



株主メモ

決算日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
配当基準日	毎年3月31日 この他、取締役会の決議により、予め公告して基準日を定めることができます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 お問合せ先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777(通話料無料) 受付時間：土・日・祝日等を除く 平日9:00～17:00
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6875/6875.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。